

# 平成 22 年度都区財政調整区側提案事項について

平成22年度都区財政調整に関する区側提案事項が、11月の特別区長会総会で決定されました。この提案事項は、都側から出された提案事項とともに、12月2日に開催された都区財政調整協議会に示され、同協議会幹事会に具体的検討を行うよう下命されました。

## 1. 検討の経過

区長会は、本年7月に特別区による自主的、自律的な区間調整を行うべく、来年度の都区財政調整に向けた基本方針を示しました。

内容は、現行算定の妥当性を検証し、特別区の実態に見合った算定に改めるとともに、基礎的・普遍的事業の的確な算定を確保しつつ、算定の簡素化や一定の行政分野の経費を包括的に算定するなど、各区の自主性が担保される算定方法への改善を、区側が主体的に行うというものです。

今回の提案事項は、この基本方針に従い、昨年度に引き続き各区の決算実績と財調算定額の比較分析を行い、費目ごとの乖離状況を踏まえて、新規需要の算定、経費算定の充実、算定方法の改善策等を各ブロックから出し合い、これを財政課長会で調整し、企画・財政担当部長会、副区長会を経て、区長会で了承されたものです。

## 2. 区側提案事項の内容

今回の提案では、①大規模な税制改正等が実施された場合には、都区間の配分割合を見直すこと、②特別区相互間の財政調整については、特別区の実態を踏まえた適切な算定となるよう区側の主体的な調整内容を基本に整理すること、③特別交付金における激変緩和措置終了分については、19年度財調協議の結果を踏まえ、普通交付金化の方向で整理することを求めています。

区側が具体的に算定内容の改善等を求めた主なものは、次のとおりです。

### ◎特別区の実態を踏まえた、標準区経費等の見直し

- ・ 育児支援家庭訪問事業費、生ごみリサイクル事業費など新規提案6提案
- ・ 電子計算事務費、認証保育所運営費等事業費、健康診査（各種がん検診）、特別支援教育経費など改善提案31提案

### ◎算定方法の簡素化・包括化への改善

- ・ 食育推進事業費、商工振興費、観光振興費など4提案

### ◎個別懸案課題への対応

- ・ 実態調査結果の分析を踏まえた標準職員数の見直しと職員数の削減に対応した事業費への振替等
- ・ サーマルリサイクルの本格実施に伴う清掃費の見直し
- ・ 医療制度改革の実績を踏まえた国民健康保険事業助成費および後期高齢者医療制度事業助成費の見直し

なお、都側からはまちづくり事業費の見直しなど4提案がありました。

景気の悪化により大規模な減収が見込まれる中、年明けの財調協議会への報告に向け、同幹事会において検討が行われます。

### 3. 財調提案とりまとめ概要（イメージ）

